

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 10 日 (2012.5.10)

【公表番号】特表 2011-517673 (P2011-517673A)

【公表日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2011-024

【出願番号】特願 2011-501963 (P2011-501963)

【国際特許分類】

C 07 D 487/14 (2006.01)

A 61 P 1/16 (2006.01)

A 61 P 31/14 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

A 61 K 31/5517 (2006.01)

C 12 N 9/99 (2006.01)

C 07 K 14/52 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/14 C S P

A 61 P 1/16

A 61 P 31/14

A 61 P 43/00 1 2 1

A 61 K 45/00

A 61 K 31/5517

C 12 N 9/99

C 07 K 14/52

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 16 日 (2012.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

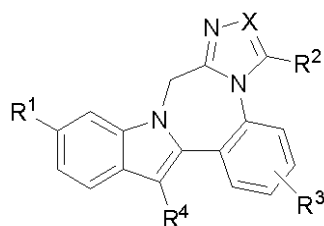
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I:

【化 1】



I

[式中:

R¹はCO₂R⁵またはCONR⁶R⁷であり;

R²は水素またはアルキルであり;

R³は水素、ハロ、アルキル、アルケニル、ヒドロキシ、ベンジルオキシ、またはアルコキシであり；

R⁴はシクロアルキルであり；

R⁵は水素またはアルキルであり；

R⁶は水素、アルキル、アルキルSO₂、シクロアルキルSO₂、ハロアルキルSO₂、(R⁸)(R⁹)NSO₂、または(R¹⁰)SO₂であり；

R⁷は水素またはアルキルであり；

R⁸は水素またはアルキルであり；

R⁹は水素またはアルキルであり；

R¹⁰はアゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、ピペラジニル、N-(アルキル)ピペラジニル、モルホリニル、チオモルホリニル、ホモピペリジニル、またはホモモルホリニルであり；

R¹¹は水素またはアルキルであり；および

XはNまたはCR¹¹である]

の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩。

【請求項 2】

R¹がCO₂R⁵またはCONR⁶R⁷であり；R²が水素またはアルキルであり；R³が水素であり；R⁴がシクロアルキルであり；R⁵が水素であり；R⁶が(R⁸)(R⁹)NSO₂であり；R⁷が水素であり；R⁸がアルキルであり；R⁹がアルキルであり；R¹¹が水素またはアルキルであり；および、XがNまたはCR¹¹である、請求項 1 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩。

【請求項 3】

R¹がCO₂HまたはCONHSO₂NMe₂であり；R²が水素またはメチルであり；R³が水素であり；R⁴がシクロヘキシルであり；および、XがN、CHまたはCMeである、請求項 2 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩。

【請求項 4】

R¹がCONR⁶R⁷であり；R⁶がアルキルSO₂、シクロアルキルSO₂、ハロアルキルSO₂、(R⁸)(R⁹)NSO₂、または(R¹⁰)SO₂であり；および、R⁷が水素である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】

R³が水素である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 6】

R³がメトキシである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 7】

R⁴がシクロヘキシルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】

R⁶が(R⁸)(R⁹)₂NSO₂または(R¹⁰)SO₂である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】

XがNである、請求項 1 に記載の化合物。

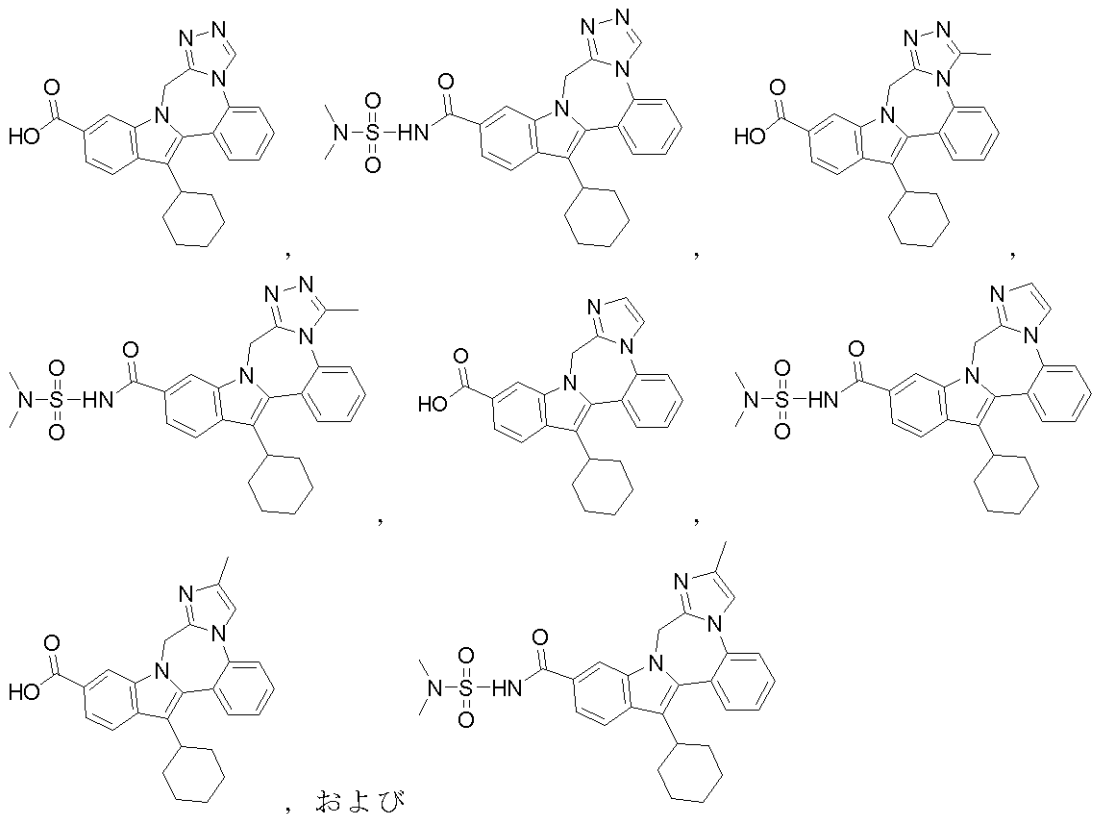
【請求項 10】

XがCR¹¹である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】

式：

【化 2】



からなる群から選択される請求項 1 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩。

【請求項 1 2】

治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩、および医薬的に許容される担体を含む、C型肝炎感染症の治療のための医薬組成物。

【請求項 1 3】

インターフェロン、シクロスポリン、インターロイキン、HCVメタロプロテアーゼ阻害剤、HCVセリンプロテアーゼ阻害剤、HCVポリメラーゼ阻害剤、HCVヘリカーゼ阻害剤、HCV NS4Bタンパク質阻害剤、HCVエントリー阻害剤、HCVアセンブリ阻害剤、HCVイグレス阻害剤、HCV NS5Aタンパク質阻害剤、HCV NS5Bタンパク質阻害剤およびHCVレプリコン阻害剤からなる群から選択される、HCVに対する治療上の有用性を有する少なくとも 1 つのさらなる化合物をさらに含有する、請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩、およびHCVに対する治療上の有用性を有する少なくとも 1 つのさらなる化合物を組み合わせる含む、C型肝炎感染症の治療のための剤であって、該さらなる化合物を請求項 1 に記載の化合物もしくは医薬的に許容されるその塩より前、後、もしくは同時に投与することを特徴とする、該剤。

【請求項 1 5】

該さらなる化合物が、インターフェロン、シクロスポリン、インターロイキン、HCVメタロプロテアーゼ阻害剤、HCVセリンプロテアーゼ阻害剤、HCVポリメラーゼ阻害剤、HCVヘリカーゼ阻害剤、HCV NS4Bタンパク質阻害剤、HCVエントリー阻害剤、HCVアセンブリ阻害剤、HCVイグレス阻害剤、HCV NS5Aタンパク質阻害剤、HCV NS5Bタンパク質阻害剤、およびHCVレプリコン阻害剤からなる群から選択される、請求項 1 4 に記載の剤。